

■中国：発改委、2020年末までに再エネの出力抑制比率を5%以下にする方針

国家発展改革委員会（発改委）は2018年12月4日、「クリーンエネルギー消費行動計画（2018～2020年）」を発表した。同計画では、今後、再エネ発電（風力や太陽光など）の利用率を高めるため、2020年末までに再エネ発電の出力抑制比率を5%以下にすることが目標になっている。なお、2018年1月～9月の出力抑制比率は、風力が7.7%、太陽光が2.9%となっている。